

「真・報連相のハンドブック」

を活用した

企業内研修の実践事例

有限会社シナジー

波多野 勝則

**真・報連相による
『仕事の進め方レベルアップ』研修**

有限会社シナジー

波多野 勝則

皆さまに期待していること

楽

分

新

本日のグラウンドルール

ATM ⇒ **笑顔** **傾** **拍手**
顔 **聴** **手**

自己紹介

① お名前

② ★好きな食べ物・飲み物
★好きな本・映画・音楽
★好きな場所

【相談の1度】

よい報連相はよい人間関係
の上に行ける、よい人間関係
はよい報連相の上に行ける、
ことを知っている

分かち合い

- 皆さんは、日頃、挨拶を交わす際に、
どんなことを大切にしていますか？
その理由は？
- 「よい人間関係とよい報連相が相互関係にある」ことを実感したエピソードがあれば、教えてください

【演習】

**「質の高い報連相
を行う意義」**

**について
考える**

【演習】

「情報の共有化」

について

考える

「情報の共有化」の成功事例 を教えてください

これまでのあなたの仕事経験の中で、
「関係者と情報の共有化を深めながら仕事を進めたところ、仕事がうまくいった」という経験を一つメモしてください。

また、その成功要因(なぜうまくいったのか)もメモしてください。

「うまくいった」とは・・・

例えば、

「皆が自発的に動いてくれるようになり、
仕事を予定よりも早く終わらせることができた」

「相手から適切な助言をもらうことができ、
アウトプットの質がぐっと高まった」

など

情報の共有化の3つの深度

深度1 ↓	事実情報の共有化 言葉や数字を <u>知っている</u>
深度2 ↓	意味(目的)の共有化 意味が <u>わかっている</u>
深度3	考え方の波長の共有化 <u>心が揃っている</u> (共感、感動、やる気)

気づき・学びの分かち合い

- **【演習】「情報の共有化について考える」を通じて、どんな気づき・学びがありましたか？**
- **その気づき・学びを、今後の「仕事の進め方」にどのように生かしたいですか？**

組織(チーム)で仕事をするとは、
お互いに助け合うということ

報連相の質を高める意義は、
情報の共有化を深めて、
助け合える職場(チーム)にすること

自己紹介パート2

① 今、関心を持っていること

② 最近、うまくいっていること

情報の共有化の“芯”は？

「関心」

「関心」が持っている働き

- 「関心」は、磁石のように、必要な「情報」を吸い寄せる
- 「関心」は、磁石のように、必要な「人」を呼び寄せる
- 「関心」の強さと、持続は、「創造」へつながる

**情報を
意味づけるのは
自己
であることをわかっている
(連絡の5度)**

【演習】

自己の

**「仕事の進め方」を
改善・レベルアップ
しよう！**

「レベル表」で自己点検

「真・報連相のレベル表」(1度～3度)

の項目を活用して、
自己の日頃の「仕事の進め方」を点検
してください。

各項目の左側に○●△の印をつけて
ください。

相互インタビュー

お互いのさらなる成長を願い、
少しでも支援ができればいいなという
気持ちでインタビューし合ってください。

相手と誠実に向き合ってインタビュー
し合ってください。

感想を分かち合いましょう

- 気づき
- つかんだヒント
- これからこんな取り組み
をしたい

など